

センターだより

NO. 5

平成 23(2011)年 9月 6日 発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町 2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

夏季研修報告

たくさんの教職員の参加ありがとうございました。

平成 23 年度は、夏季休業中に 56 講座の研修を実施し、延べ、**1723 人**の教職員の参加をいただきました。授業中と違い時間的にも気持ち的にもゆとりのある中で、参加者が活発に意見交流し考えを深めたり、実際に体験をしたりと積極的に研修に参加されている姿が見られました。それぞれの研修での学びを今後の指導に活かしていただくとともに、各校園に持ち帰り、他の教職員への伝達講習を通して学校園全体の実践の広がりとなっていくことを願っています。



特別支援教育研修

夏季休業中には 4 講座に多くの教職員が参加し、学びを深めました。以下に参加された方の感想を紹介します。



・見立てのプロセスを具体的に学べる良い機会でした。ありがとうございます。校内委員会で役立てていきます。とてもわかりやすい話で理解しやすかったです。
・誰にとって何が問題かをハッキリさせるのはとても難しいなと思った。思いはいろいろあっても本当に困っていることを見極めることは大事だと感じた。
(215 ケースの見立て)

・何度も「個別の指導計画の書き方について」の研修を受講させてもらい、ようやくポイントが掴めて来たように思います。具体的なわかりやすいワークを含んだ研修が勉強になります。ありがとうございました。
・今日の研修で学んだことを 2 学期からの学校運営に活かしていきたいと思いました。また、校内体制を整えていく必要があると感じました。各校での取組の違いなども知ることができ、良かったです。ありがとうございました。
・個別の指導計画についてどう書いていいのか良くわからなかったが、子どもの 10 年後、将来を見据えて考えていくことの大切さを学べてとても良かったです。
(218 個別の指導計画の立て方)

・支援の必要な子にとってわかりやすい指示や指導はクラスの子の子にとってもわかりやすく、居心地のいいクラスとなり、学力を育てるクラスになると思いました。
・ルールは子どもを縛りつけるものではなく、望ましい行動を増やすためのものであることにとっても納得しました。
・授業作りや学級作りを振り返る良い機会になりました。使ってみよう、やってみようという手立てがたくさんあって勉強になりました。(216 授業ルールについて)

・文章の意味を理解するという事は読み書きに困難のある児童生徒にとってはとても難しいことだということがわかりました。スモールステップで段階をゆっくり踏んで学習することが大切だと思いました。家庭や学校で何が苦手かを早く気づいてあげることも必要だと感じました。今日の研修をこれからの指導に生かしていきたいと思います。
・ディスレクシアと PDD の違いなどとても説明がわかりやすかったです。教師にきちんと障がいに対する知識が無ければ生徒自身が困難な道に歩むのがわかった。
(217 読み書きの指導について)

平成 23 年度吹田市教育研究大会

たくさんの参加・報告
ありがとうございました!!

本年度の教育研究大会は、小学校ではすでに 2 学期が始まっている中、8 月 30 日午後から全体会と分科会を開催し、**1456 名**の教職員の参加がありました。千里みらい夢学園の取組報告と吹田市の教育委員会委員長職務代理者でもある鈴木直教授の基調講演の後、7 つの分科会で現場の先生たちによる取組や研究報告・パネルディスカッション・講演等が行われました。それぞれの分科会で、様々な教育課題について学びを深めることができました。ご協力ありがとうございました。研究大会の報告につきましては、9 月下旬にまたお知らせします。



教育課題別研修



本年度は、新教育課程の評価・教育相談・人権教育・キャリア教育等7講座を実施し、合計297名の参加をいただきました。出来るだけ参加者に主体的に参加していただけるよう工夫しました。

研修の様子を一部紹介致します。(※は、参加者の感想です)



模擬授業での群読発表

学習評価を生かした授業改善(新教育課程研修)

実際の授業場面を通して子どもたちをどう見取るのかについて具体的に学びました。**評価を考える＝授業改善**につながることを再認識する研修でした。

※教師側からの一方通行でなく、子ども同士の学び合いの力をもっと信じてみようと思った／肯定的評価の大切さを学べた／「自分が参加している」・「学んでいる」と思える研修だった／授業改善の視点が参考になった



太鼓でつながる心一人と人とのつながりの大切さー (人権教育研修)

大東の太鼓集団「魁」の方をお招きし、太鼓の演奏とともにこれまで厳しい差別と戦い生きてこられた生のお話を聞きました。

※厳しい現実の話もされましたが、人としてつながることのすばらしさ、誇りを持って生きることのすばらしさを学びました。／差別から生まれた文化の話や様々な差別での経験談を聞いた。これからの仕事に生かしていきたい



太鼓演奏にもチャレンジ!

授業研究リーダー養成研修②

ビデオによる模擬校内授業研究の体験と各校の授業研究の工夫を情報交流しました。

※学校全体で研究授業を行いたい。全員が集まれば、今日のようにビデオを使う、授業記録を使うなど工夫したい(中学校)／課題からの改善提案を次回の研究授業に生かす、それが生かされたかどうかについても努目だよりに明記していくというのをやっていきたい(小学校)／実際の研究協議会では、様々な意見を小中で交流してよかった。

是非2学期からの校内授業研究に生かしてください!

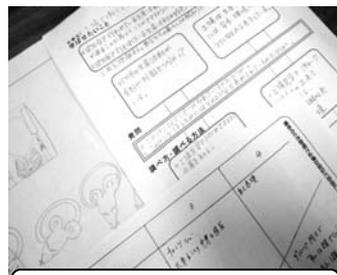


ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ



夏期ステップアップ研修では、「人権教育研修」「特別支援研修」「支援学級研修」「授業づくり研修」など、計7講座を行いました。そのうち、ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱの合同開催で行った「授業づくり研修」について、報告します。

8/8(月)「授業づくり選択研修」では小学校は「国語」「算数」「社会」「外国語」に分かれ、中学校は「道徳」の授業づくりについて学びました。班別にしたことで、授業をつくる上でポイントとなることを中心に少人数でじっくり学ぶことができました。報告会後は次回の授業案づくりに向けて、班でどの学年のどの単元で作るかなどを相談しました。



8/11 授業案ワークシート

8/11(木)「指導案づくり研修」では、前半はセンターの鷲尾参事より「指導案の書き方」について基本的なことを学びました。後半は班で前回決めた単元について、具体的に授業案をつくりました。資料を用意している班や教材を持参した班もあって、熱心に協議していました。最後に報告会を行いました。8/8の研修を生かして授業づくりをしたことがよくわかる報告がたくさんありました。



8/8 班で相談

感想から

- ・今日の研修を受けるまで、国語は指導書に頼りっぱなしでした。しかし、この研修で、「指導目標を明確に持つ」→「ねらいを達成するための言語活動を行う」→そのために「教師の教材研究力を高める」ことの大切さを学びました。
- ・自分たちで考えて発表することで、主体的に取り組むことができました。ぜひ、2学期に実践したいと思います。
- ・「こんな授業のやり方があるんだ」という発表がたくさんあり、研修に参加してよかったです。

この夏期連続研修が秋以降のステップアップ研修の代表授業にもつながっていくことを期待しています。

授業づくり研修

理科実験・観察研修

小・中学校を3講座に分けて、3日間の日程で実施しました。小学校は2学期から取り扱う教科書の実験・観察を3・4年と5・6年に分かれて実習しました。中学校は、新学習指導要領で取り扱う内容や専門的な内容で、授業で役に立つ実験・観察でした。延べ39名が参加し、実験教材等の土産付きで、内容もすぐに学校で活かせるとあって、受講者は満足されていました。(講師は理科教育研究グループの先生)



今後、1学期初めと夏休みの定期的開催や、初任者・講師対象の開催が必要と感じました。

理科は実験が多く危険を伴うこともあり、不安がいっぱいでしたが、安全に楽しく授業ができそうです。教科書の実験を、まず教師がやってみることに価値があったと思います。

「教科書を教える」のではなく、「理科で何を教えるか」が大切だと思った。

小学校英語研修

夏季集中研修

1学期から各学校を回っているAETと指導主事による模擬授業やチャンツ・歌、ゲーム・アクティビティ、ストーリーを使ったいろいろな活動を体験しました。また、小グループに分かれて、実際に活動を生かす指導法を考え、互いに発表しあいました。どの回も参加者は、楽しく活動しながら、英語活動への意欲を高めていました。



・楽しんで学ぶことがどれだけいたせつなのか再確認できました。いろんなゲームの紹介があり、実際に教室でできそうに思えました。
・小学校からどのような状態で中学校へあがってくるのかわかり、大変になりました。授業に生かしていきます。
・模擬授業を受けてみて、AETとTTをする時の担任の役割のわかり、とても参考になりました。

ヤングリーダー研修 学校パワーアップ研修

夏季休業中は、それぞれ3講座を行いました。ヤングリーダー研修としては、人権研修「子どもの人権が大切にされる学校・学級づくり」、子ども理解「どの子どもたちにも過ごしやすい学校生活を」の必修講座と、新しい教育課題として「エネマネ研修」、「新教育課程」、「キャリア教育」「国語力向上」から1講座を選択する選択講座を受講しました。学校パワーアップ研修としては、「大阪府の学力向上施策」、保護者対応「信頼される学校づくり」、人権研修「人権を大切にしたい学校づくり」を実施しました。いずれの研修も、これから学校を牽引していくミドルリーダーとして学んでいただきました。この学びを今後の各校での教育活動に、是非活かしていただきたいと願っています。

・日頃、視覚的に提示することや行事などで教師同士の意識の共有化が大切だということがわかりました。(ヤングリーダー)

・人権は、個人のみならず、組織として守ることが大切であると改めて感じました。(パワーアップ)



情報教育研修



夏季休業中に22講座開催し354名の先生方に参加いただきました。昨年度と同様、教育センターの情報科学室での研修に加え、市内小・中学校にて校内LAN及びタブレット型ノートパソコンの活用を目的とした研修等も実施しました。

2学期以降の授業や校務に活かしていただければと願っています。



・自分が今まで気づかなかった機器の活用方法がたくさんあるんだと思いました。もっと勉強してきたいです。
・今日の研修を受けて、ICT機器は「どこで使えば効果的か」をしっかりと考えなければならぬと思いました。

9～10月 教職員研修予定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
課題別研修 国語力向上	68	「これからの子どもたちに必要な言葉の力」 ～思考力・表現力を高めるための言語技術～ つくば言語後術教育研究所 所長 三森 ゆりかさん	青少年拠点施設 夢つながり未来館 多目的ホール	9月12日(月) 15:30～	教職員
特別支援教育研修	228	事例研修(学習領域) 大阪医科大学LDセンター 言語聴覚士 西岡 有香先生	教育センター 視聴覚室 (2階)	9月15日(木) 15:45～	教職員
	219	特別支援教育アドバンス研修③ 「WISCを中心とした発達検査について」	教育センター 視聴覚室 (2階)	10月11日(火) 15:45～	教職員
	226	事例研修(行動領域) 兵庫教育大学 准教授 井澤 信三	教育センター 研修室 (2階)	10月17日(月) 15:45～	教職員
教科領域別研修	82	【基礎研修】 「小学校英語活動の先進的な取組に学ぶ」 関西大学初等部 教諭 梅本 龍多先生 ※小中学校英語担当者会と兼ねる	教育センター 視聴覚室 (2階)	9月16日(金) 15:45～	小学校教職員 中学校英語科教員
	84	【授業研修】(第2回) 小学校5年 英語ノート1 研究授業・研究会 授業者 吹田第三小学校 教諭 松岡 由果 講師 関西大学 外国語学部長 竹内 理先生 ※小中学校英語担当者会と兼ねる	吹田第三小学校 5年3組	10月25日(火) 14:30～	
	91	【公開授業と講演】 「活用力をつける国語の授業 —説明文教材を中心に—」 筑波大学附属小学校教諭 二瓶 弘行 先生 ※本研修は小学校教育研究会国語部と共催です。 ※南山田小学校4年1組での公開授業です。	南山田小学校	10月12日(水) 14:00～	教職員
情報研修教育	319	「Windows7・Office2007活用法」 (株)ワックスシステム 刀根良紀	津雲台小学校 コンピュータ室	9月14日(水) 15:00～	教職員

※各講座の詳細は、各学校ごとに送付します実施要項をご覧ください。

吹田市のスーパーティチャーによる公開授業
吹田市内の指導教諭の先生方が公開授業等をされる情報を教育センターだよりで紹介していきます。

音楽を主とした表現活動
日時 9月21日(水)
研究授業 5時間目(14:00～)
研究協議 15:00～
場所 千里第一小学校 多目的室
授業者 千里第一小学校指導教諭 田淵 久美子

申し込みは特に不要です。
※本授業は、学研児童文化部と音楽部の共催で実施されます。

音楽や音を一つの手だてに、五感をフルに使い、表現します。楽しみながら授業を受けている間に…いつの間にか表現力がついているかも！

教育課題別研修 国語力向上研修(講座番号68)
これからの子どもたちに必要な言葉の力
—思考力・表現力を高めるための言語技術—

なぜ、日本の子どもたちは、自分の意見を言えないのでしょうか？
「説明力」や「分析力」・「表現力・思考力」を高めるためには？
ドイツの言語技術教育システムを参考にして組み立てた独自のカリキュラムにより、「つくば言語技術教育研究所」において、小学生から高校生までの指導されている三森さんをお招きしての講演です。

日時 2011年9月12日(月) 15:30～17:00
会場 吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館 多目的ホール
講師 つくば言語技術教育研究所 所長 三森 ゆりかさん

定員200名 後少しだけ余裕があります。
定員に達した時点で申し込みを締め切らせていただきます。



10月のさつきらる一む(初任者教員等相談室)は、
10月4日(火)6日(木)です。

申し込みは、教育センターまで(メールまたは研修申込にて)

